

09年12月7日市警ニュース

JSSによる情報提供

寒冷期の自動車取り扱い

この冬最初の冬の嵐の影響で12月9日は、トロント全域は雪やフリーズグレイン、そして雨になる予報が出されている。こういった天気や、これからの冬に備える対応策として市警は以下を推奨する。

機器

- タイヤ；
ウインター、スノー、ないしフォーシーズンの中のいずれを装着しているかに関わらず、状態の良し悪し、空気圧ならびにトレッドの磨耗状況を確認すること。
- バッテリー；
寒冷期のエンジン始動に支障がないかどうか、電気系統およびバッテリーの状況を確認すること。
- ワイパー；
耐用期間を過ぎた、ないしは破損したワイパーブレードは交換すること。
- 窓洗浄液；
タンクは常に満杯にし、予備のタンクをトランクに入れること。
- ブースターケーブル；
自分のためはもとより、人を助けるためにブースターケーブルはいつも携行しよう。
- 雪・氷かき；
長い手がついたブラシと氷かきは、車に積もった雪ないしは凍結した氷を払いかけたための必需品。
- その他；
緊急用食料、水、毛布、保温ブーツ、

手袋、帽子など。

運転—むやみに外出しないこと。

- 緊急事態に反応する時間を確保し、停止距離を短縮するために速度は落とそう。
- 見通しを良くし、周囲の状況確認に鏡を使おう。
- 危険は早めに察知しよう。
- 周囲の状況、運転の技量、使用している機器の限界を守ろう。
- 外出の必要性、周囲や道路の状況変化を確認しよう。
- 重装備のブーツや手袋、ないしはコートを使用したままの運転は避けよう。此の種の防寒具などは、感覚を鈍らせ動きを阻害するので敬意大破しても運転時の使用は避けよう。

交通部は市内の交通安全および交通秩序維持のために活動している。Twitter の TrafficService や Facebook の Toronto Police -Traffic Services、 Blog を通じて、交通部の活動状況を認識されたい。

歩行者の負傷ないしは死亡を減少させるための啓蒙活動に関する市警交通部の交通安全活動についてさらに詳しく知りたい人はここをクリックされたい。

JSS 説明

自動車での移動が通常となっている当地で、降雪期の運転は不慣れな人にとっては頭痛の種だ。かなり慣れたと思う筆者の場合も、長時間運転すると胃が痛くなる。又、気温の低下に伴って、バッテリー出力の減衰では時にエンジンがスタートしなくなるなど、色々な問題にぶつかるのもこの時期が多い。

訳出した記事には記載がないが、筆者は当地のハイウェイ走行中にフリージングレインを経験し、生きた心地がしなかった思い出もある。

訳出した記事はきわめて簡潔に冬季の運転について注意を喚起したもので、前出のフリージングレイン遭遇時の注意などは記載がないが、一般的な注意が記載されているので十分参考になる。

一方同時期に別の警察が発表した記事では訳出分に加えて下記のような注意点が指摘されている。

装備関係

- * ベルト、ホース類を点検
- * 燃料タンク少なくとも半分以上で出発
- * 全てのガラスと鏡は、視界を遮らないようぬぐうこと
- * 雪が多いところではスノータイヤが推奨
- * 携帯電話の携行
- * シャベル、ロウソク、マッチ、毛布など緊急セットの携行

運転関係

- * 曲がる前に十分減速すること
- * 横滑りしたら、滑る方向にタイヤを向け、わずかに加速してタイヤを噛ませる。行きたい方向を見てそこにハンドルを向ける。
- * 濡れたないしは雪の積もった道でのクルーズコントロール使用は避ける。
- * いつもより車間距離をとる。
- * 目的地までに必要時間をいつもより長く予定する。
- * 注意深く、忍耐強く、思いがけない事態が起きうる事を念頭に、安全に運転しよう